

新嵐山活用計画の見直しに係る新嵐山スカイパーク自分ごと化会議 の進捗状況について【新嵐山スカイパーク運営支援事業】

1 新嵐山活用計画とは

第5期芽室町総合計画の「新嵐山スカイパークの基本方針」に基づき、新嵐山のあるべき姿（ビジョン）を明確にし、具体的なアクションを示したもの。

2 新嵐山活用計画の見直しの必要性

新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化など新嵐山スカイパークを取り巻く環境変化への対応や新嵐山活用計画に対する町民ニーズの把握および反映するため。

3 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議（議論する組織）

○無作為抽出の2,000人の中から46人の町民に応募いただき、うち36人参加のもと、活用計画を検証するための会議を実施。

- ・第1回 令和4年12月18日（日） 28名参加
- ・第2回 令和5年1月9日（月） 23名参加
- ・第3回 令和5年2月5日（日） 22名参加
- ・第4回 令和5年3月4日（土） 19名参加

○上記会議での議論を踏まえ、自分ごと化会議から町に対し、活用計画への提案書をまとめる。

- ・報告会 令和5年5月20日（土）開催予定

4 今後のスケジュール

5月 新嵐山スカイパーク自分ごと化会議からの提案（5月20日）

5月-7月 改訂版 新嵐山活用計画〔素案〕の検討
・経営戦略会議（庁内）

8月-9月 所管委員会への説明（改訂版 新嵐山活用計画〔素案〕）

10月-11月 町民への周知：めむろ未来ミーティング（改訂版 新嵐山活用計画〔原案〕）

12月 パブリックコメント実施（改訂版 新嵐山活用計画〔原案〕）

2月 改訂版 新嵐山活用計画の成案化

5 その他（関連事項）

- ・次期指定管理者の公募については、令和5年8月から9月までの期間を想定。

シティープロモーション推進事業

～ 関係人口・交流人口の創出と一流に触れる機会の創出

1 概要

十勝 19 市町村が一体となり、本年 3 月に北広島市に開設された「北海道ボールパーク F ビレッジ」において行われる、北海道日本ハムファイターズの試合を「十勝」の冠タイトル（ボールパーク“やっぱり”十勝 DAY）を付けて開催し、多くの方々に十勝の魅力を発信するとともに、町民の皆さん（小中学生を想定）には、球場内で行われる各種企画に参加いただき、一流に触れる機会を創出します。

- (1) 日 時 令和 5 年 8 月 4 日（金） 18 時試合開始 （vs ソフトバンク戦）
- (2) 場 所 北海道ボールパーク F ビレッジ
- (3) 来場予定 30,000 人（収容人数 35,000 人）

2 目的

十勝が一体となって、その魅力を発信する企画であり、試合会場での PR 活動のほか、メディア露出等により、芽室町に認知度向上、関係人口・交流人口の創出、ふるさと納税等への効果が期待できるとともに、各種企画に参加する子どもたちにとっては、一流に触れる機会が創出されると考え、当企画に参加するものであります。

■ 第5期芽室町総合計画との関係性

- 1-2-2 地域資源を活用した観光の振興
 - ・芽室町が道内・国内・海外に発信
 - ・ふるさと納税制度を積極的に推進し、魅力を広く発信
- 2-2-2 スポーツしやすい環境づくり
 - ・一流を見て、聴いて、学ぶ機会を確保
- 5-3-1 シティープロモーションの推進
 - ・関係人口・交流人口の創出

3 内容(PR概要)

次のとおり様々な手段により、十勝19市町村が一体となりPRします

- (1) 開催前 ファイターズ公式WEBサイトでの告知・呼称/商標/集合肖像の利用
チケットへの冠タイトルの印字
- (2) 試合前 コンコースサイネージ・スタジアムツアー・ビジョンCM・入場ゲート
サンプリング・プロモーションブース・物販ブース・大型ビジョン・始
球式・キッズスターター・グラウンド内アトラクション・プレイボール
キッズ・花束/記念品贈呈
- (3) 試合中 コンコースサイネージ・大型ビジョン抽選会
- (4) 試合後 MVP賞・グラウンド写真撮影会

また、芽室町独自のPR手段として、入場ゲートでの芽室町PRグッズの配布を検討

(PR数値イメージ)

- 1 来場者(3万人)へのダイレクトなPR
- 2 北海道日本ハムファイターズの興味・関心層360万人へのPR
- 3 テレビ放映によるPR(40万人へのリーチ)
- 4 全道版新聞約85万部へのPR

4 経過

平成16年の日本ハムファイターズの北海道移転時からの球団パートナー企業から、十勝町村会、帯広市、十勝管内全自治体に向けて、新球場開設を契機に十勝のプロモーションの場所として、冠タイトル試合の企画提案、説明を受けました。

- 令和5年 2月 十勝町村会の会議において各首長に提案、帯広市にも提案
- 3月 十勝町村会において全町村で参加する方針を発出
- 3月 十勝管内全自治体事務担当者に向けた企画内容説明会の開催
- 4月 十勝管内全自治体が参加する方向で調整

(今後の進め方)

十勝19市町村において、実行委員会を設置し、実施に向けて詳細を調整していく